

中川村 新たな学校づくりプロジェクト その7

新たな学校の
コンセプト(構想)

学校教育が目指す子どもの姿
「自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む」

令和13年度の開校を目指している小中学校を統合した義務教育学校について、12月18日(木)に第5回中川村新たな学校づくり委員会を開催しました。これまで、全面建て替えを方針としてきましたが、財政的理由から既存の中学校校舎を有効活用し、不足する施設については新築する方向性で検討することを確認しました。

【これまでの経過】

教育委員会では、6月から新たな学校建設に向け、作業部会(専門家チーム会議)を設置し、校舎についての詳細検討を進め、10月のシンポジウムでは、早稲田大学田中研究室で作成していただいた模型で校舎のイメージをお示ししました。

併行して、9月から役場庁内の検討会議が立ち上がり、新たな学校建設に係る財政面での検討が始まりました。新たな学校建設をはじめ、今後予定されているリニア工事関連事業、望岳荘の改修、チャオ周辺の整備など大型事業を行った場合の中長期的な財政分析の結果、全面建て替えとした場合に、村の財政状況が非常に悪化する見通しであることが分かりました。また、各種助成金の制度活用についても検討しましたが、十分な配分が見込めないことから、新たな学校の全面建て替えは困難であるとの見解に至りました。

【これからの検討の方向性】

・既存校舎(現中川中学校)を最大限活用し、必要な教室などを精査したうえで、不足する教室などについて新たな校舎を建設する。

※ただし、既存校舎は築50年を経過しているため、まずは状

態を確認することが必要。

・既存校舎の改修については必要な部分を精査し、できるだけ最小限にとどめるよう努力するが、新たな教育の実現に向けた学校施設の考え方ができるだけ実現できるよう取り組む。

・今後さまざまな課題に直面することが予想されるが、先を急ぐことなくじっくりと検討して、合意形成を図りながら進める。

校舎の全面建て替えは断念せざるを得なくなりましたが、コンセプトとして掲げた「学校教育が目指す子どもの姿」に変わりはありません。令和13年度の新たな学校の開校に向け、今後シンポジウムやパブリックコメントを通じて、住民のみならず、よりよい学校となるようご協力をお願いします。

新たな学校づくりプロジェクトの進捗については、村公式ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

中川村新たな学校づくりプロジェクト
記事ID:10267



教育委員会総務学校係

TEL 88-11005

【委員会が出た意見1】

庁内検討会議が9月からだったというのが分からない。資料の高騰も9月からはないし、人口が減っていくのも予想できなことなので、もっと早く財政状況を言ってもらえれば違う形もあったのではないかと思う。シンポジウムで田中研究室の学生のみさんが作ってくれた模型を見たみんなのうれしい顔も今となってはむなしくなってしまう。

【委員会が出た意見2】

夢を実現するために新しい目に見えるものを作ることはわかりやすいが、それだけでは無理な制約がなく自由に考えて議論していきましょうという話だったと思う。これまでの議論が全部ダメになったわけではなく、この制約の中で、どう実現させていくか前向きな方向に変えて行かなければ話が進まないと思う。

今後のスケジュール

年度	前半	後半
7年度		学校施設詳細検討 新たな学校基本構想・基本計画策定
8年度	学校施設詳細検討	プロポーザル・設計業者の選定 [検討中] 新 新たな学校準備委員会(仮称) ・義務教育学校設立 ・教育課程編成 ・地域連携構築 ・学校建設
9年度 ~ 10年度	基本設計・実施設計	
11年度 ~ 12年度	工事	
13年度	開校予定	